

マリー＝アントワネットの画家

ヴィジェ・ルブラン展

— 華麗なる宮廷を描いた女性画家たち —



MITSUBISHI
ICHIGOKAN
MUSEUM,
TOKYO



Créer au féminin. Femmes artistes du siècle de Madame Vigée Le Brun

2011.3.1 (tue) ~ 5.8 (sun) 三菱一号館美術館 (東京・丸の内)

開館時間：水・木・金 10:00 ~ 20:00 火・土・日・祝 10:00 ~ 18:00 *入館は開館の30分前まで 休館日：月曜休館 (祝日の場合は翌火曜日休館。5月2日(月)は開館)
主催：三菱一号館美術館、日本経済新聞社 特別協力：ヴェルサイユ宮殿美術館 後援：フランス大使館 協賛：女子美術大学 協力：日本航空、大日本印刷、J-WAVE
お問い合わせ：03-5777-8600 (ハローダイヤル) 展覧会サイト：<http://mimt.jp/vigee/> 美術館サイト：<http://mimt.jp/>
エリザベト・ルイズ・ヴィジェ・ルブラン (自画像) エルミタージュ美術館蔵 サンクト・ペテルスブルク Photograph © The State Hermitage Museum / Vladimir Terebenin, Leonard Kheifets, Yuri Molodkovets



VIGÉE LE BRUN

マリー＝アントワネットの画家

ヴィジェ・ルブラン展

— 華麗なる宮廷を描いた女性画家たち —



18世紀の「カワイイ」を描いた女たち。

2011.3.1 (tue) ~ 5.8 (sun)

三菱一号館美術館 (東京・丸の内)

開館時間：水・木・金 10:00 ~ 20:00 火・土・日・祝 10:00 ~ 18:00 *入館は開館の30分前まで 休館日：月曜休館 (祝日の場合は翌火曜日休館。5月2日(月)は開館) 主催：三菱一号館美術館、日本経済新聞社
特別協力：ヴェルサイユ宮殿美術館 後援：フランス大使館 協賛：女子美術大学 協力：日本航空、大日本印刷、J-WAVE お問い合わせ：03-5777-8600 (ハローダイヤル)
展覧会サイト：<http://mimt.jp/vigee/> 美術館サイト：<http://mimt.jp/>
エリザベト・ルイズ・ヴィジェ・ルブラン (フランス王妃マリー＝アントワネット) 個人蔵 (CPDHS) パリ



MITSUBISHI
ICHIGOKAN
MUSEUM,
TOKYO

Créer au féminin. Femmes artistes du siècle de Madame Vigée Le Brun

マリー＝アントワネットの画家
ヴィジェ・ルブラン展
 ー華麗なる宮廷を描いた女性画家たちー



1



2



3



4



5



6



7



8



9

- 1 エリザベト・ルイズ・ヴィジェ・ルブラン
《フランス王妃マリー＝アントワネット》
個人蔵 (CPDHS) / パリ
- 2 エリザベト・ルイズ・ヴィジェ・ルブラン
《ボリニャック公爵夫人、カリエル・ヨランド・
クロード・マルティヌス・ド・ボラストロン》
1782年 ヴェルサイユ宮殿美術館蔵
©RMN (Château de Versailles) / Gérard Blot /
distributed by AMF
- 3 マリー＝ガブリエル・カベ 《自画像》
国立西洋美術館蔵 東京
- 4 エリザベト・ルイズ・ヴィジェ・ルブラン
《自画像》1791年 ナショナル・トラスト
プリストル・コレクション蔵 イックワース(イギリス)
©NTPL/Angelo Hornak
- 5 エリザベト・ルイズ・ヴィジェ・ルブラン
《グリゴリー男爵、アレクサンドロヴィッチ・
ストロゴノフ》 エルミタージュ美術館蔵
サンクト・ペテルスブルク
Photograph © The State Hermitage Museum /
Vladimir Terebinin, Leonard Kheifets, Yuri Mokodkovets
- 6 エリザベト・ルイズ・ヴィジェ・ルブラン
《リュゾル男爵夫人、アンヌ＝マリー・ジョゼ
フィニス・ガブリエル・ベルナルド》 1785年
オーギュスタン美術館蔵 トゥールーズ(フランス)
©Toulouse, Musée des Augustins,
photo : Daniel Martin
- 7 ジャン＝オノレ・フラゴナールと
マルグリット・ジェラール 《生まれた接吻》
エルミタージュ美術館蔵 サンクト・ペテルスブルク
Photograph © The State Hermitage Museum /
Vladimir Terebinin, Leonard Kheifets, Yuri Mokodkovets
- 8 エリザベト・ルイズ・ヴィジェ・ルブラン
《ルイズ・マリー・テレーズ・ヴィクトワール・
ド・フランス、通称マダム・ヴィクトワール》
個人蔵 (CPDHS) / パリ
- 9 エリザベト・ルイズ・ヴィジェ・ルブラン
《アンナ・セルゲイェヴナ・ストロゴノヴァ
男爵夫人と息子のニコライ》
エルミタージュ美術館蔵 サンクト・ペテルスブルク
Photograph © The State Hermitage Museum /
Vladimir Terebinin, Leonard Kheifets, Yuri Mokodkovets

フランス革命により、断頭台の露と消えた王妃マリー＝アントワネット。本展は、奇しくも彼女と同じ年1755年に生まれたひとりの美貌の女性画家ヴィジェ・ルブランを軸に、「女性の時代」とも呼ばれる18世紀フランスの優れた女性美術家たちの作品に焦点をあてた、世界的に見ても稀な展覧会です。

画家の家に生まれたエリザベト・ルイズ・ヴィジェ・ルブラン(1755-1842)は、幼くして才能を現し、聖ルカ・アカデミーの会員となって本格的な画家としての道を志します。1776年、画商のジャン＝バチスト・ピエール・ルブランと結婚する頃には、ヴェルサイユにあったルイ16世の宮廷に出入りするようになり、マリー＝アントワネットと出会います。王妃と親しく心を通わせる友人ともなったヴィジェは、「王妃のお抱え画家」として幾点もの見事な王妃の肖像を筆頭に、王族や貴族たちの肖像、そして自身の美しい「自画像」の数々を通して、宮廷とそこに生きる人々の華やかな姿を描き留めていきました。

1783年にはライバルの女性画家ラピーユ＝ギヤールと共に王立絵画彫刻アカデミーの会員として迎えられ、ヴィジェ・ルブランの名声はヨーロッパ中に鳴り響きますが、1789年に勃発したフランス大革命がその運命を決定的に変えます。9歳の一人娘を連れてフランスを逃れたヴィジェ＝ルブランは、イタリア、オーストリア、ロシアなどで亡命生活を送る傍ら制作を続け、12年後にようやく故国に戻ります。しかし、彼女が眼にしたものは、すっかり変貌を遂げていた社会でした。ブルボン家による君主制は革命の流血の中に崩壊し、やがて、ナポレオンの帝政を経て、新しい市民の時代が始まろうとしていたのです。

こうした女性美術家たちが生きたのは、華やかな18世紀の旧体制から質実で合理主義的な19世紀市民社会に移り変わろうとする激動の季節でした。時代に翻弄されながらもたくましく制作していった彼女たちが直面したさまざまな問題に触れながら、作品に託された女性としての感受性と創作者としてのメッセージを読み取ろうとするのがこの展覧会です。

本展ではマリー＝アントワネットの肖像を含むヴィジェ・ルブランの作品23点をはじめ、ラピーユ＝ギヤール、ヴァレイエ＝コストル等、女性芸術家たちの作品約80点を展示します。どうぞご期待ください。(三菱一号館美術館館長 高橋明也)

Lecture
講演会

① 講師：グザヴィエ・サルモン(フォンテーヌブロー宮殿美術館館長、本展監修) ※逐次通訳あり / 日時：3月1日(火) 18時半～20時

② 講師：大野芳材(青山学院女子短期大学芸術学科教授、本展学術協力) / 日時：3月8日(火) 18時半～20時

①②とも会場：SPACE NIO(東京都千代田区大手町1-3-7 日本経済新聞社 東京本社2階) / 定員：80名 / 参加費：1,000円
 ※申込方法：本展ホームページより申込。詳細は決定次第サイトに掲載いたします。

Seminar
トークセミナー

丸の内アートサロン
 展覧会を語る「マリー＝アントワネットの画家 ヴィジェ・ルブラン」展 担当学芸員による本展についてのトーク
 日時：3月10日(木) 19時～20時半 / 会場：丸の内カフェ(新東京ビル1階) / 定員：50名 / 参加費：1,000円
 ※申込方法：丸の内カフェホームページ(<http://marunouchicafe.com/>)より申込。詳細は、2月上旬WEBアップ予定。

Collaboration
本展コラボレーションCDも発売!

唐澤まゆ子 『L'Art de Marie-Antoinette ～アート・オブ・マリー＝アントワネット～』
 王妃マリー＝アントワネットの楽曲を日本で始めて発表し、その表情豊かで澄んだ声に定評があるソプラノ歌手、唐澤まゆ子による、マリー＝アントワネット所縁の佳曲を中心に収録したCD。展覧会とともに楽しんでください。
 FOC9489 販売価格：¥3,000(税込) 2011年2月23日発売予定

※ヴィジェ・ルブラン展では、4月1日(金)より4月3日(日)まで東京国際フォーラムにて開催されるアートフェア東京チケットをお持ち頂くと観覧料が100円引きになります。詳細は決定次第サイトに掲載致します。

会期：2011.3.1(tue) ~ 5.8(sun)

開館時間：水・木・金 10:00～20:00
 火・土・日・祝 10:00～18:00
 ※入館は閉館の30分前まで

休館日：月曜休館(祝日の場合は翌火曜日休館。5月2日(月)は開館)

観覧料	一般(大人)	高校・大学生	小・中学生
[当日]	1,500円	1,000円	500円
[前売り券]	1,300円	800円	300円
[日時指定]	1,500円	1,000円	500円

■前売券：以下の期間、以下の場所にて発売します。
 ・三菱一号館美術館内ストア1894にて2月6日(日)まで、都内ロイヤルパークホテル(汐留ほか)、TOKS、メトロコマース等各種プレイガイドにて2月28日(月)まで輸入チケットを販売。
 ・ローソンチケット、チケットぴあ、セブンイレブン、イープラス等各種プレイガイドにて2月28日(月)までオンラインチケットを発売。
 ■日時指定券は、混雑時でも優先的に入場できるチケットです。
 ・3月1日(火)より5月7日(土)まで、三菱一号館美術館内、ローソンチケットで発売。詳細は展覧会サイトへ。



三菱一号館美術館

〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-6-2

- 東京メトロ千代田線「二重橋前」駅・1番出口から徒歩3分
- 都営三田線「日比谷」駅・B7番出口から徒歩3分
- JR「東京」駅・丸の内南口、「有楽町」駅・国際フォーラム口から徒歩5分

SPACE NIO (右地図)

- 東京メトロ・都営地下鉄「大手町」駅・C2b出口直結
- 東京メトロ「竹橋」駅・4番出口

